

事前のお知らせ



中米6か国の研修生が、練馬の地域防災を学ぶ ～練馬の防災を世界に発信!～

と き 平成29年7月5日(水) 午前9時半～午後3時

と ころ 練馬区立防災学習センター(光が丘6-4-1)

来月5日、中米6か国の研修生と中米防災調整センターの職員14名が、練馬区の地域防災の体制や制度、組織・体制づくりを学ぶ。

これは、JICA(国際協力機構)が実施する「中米広域防災能力向上プロジェクト」の一環で、2016年から2020年までの間に5回来日して実施される予定の研修の一つである。

中米諸国は、日本と同様、地震や津波、風水害など自然災害が多く、各国における喫緊の課題である。そのため各国は、様々な防災対策に取り組み、国レベルでの防災意識は高い。一方、市民を中心とした地域防災については、具体的な体制が整っていない。

当日は、各国における地域防災力向上を図るため、練馬区の区民防災組織の活動やねりま防災カレッジ事業など、区民との協働による地域防災を学ぶほか、起震車による地震体験や資器材操作訓練などを行う。

【概要】

日時：平成29年7月5日(水) 午前9時半～午後3時

会場：練馬区立防災学習センター(光が丘6-4-1)

内容： 練馬区の防災体制の特徴や訓練等助成金について説明
阪神・淡路大震災の被災者による体験談
起震車による地震体験や、発電機・バーナーの操作訓練、
アルファ化米の昼食
ねりま防災カレッジ事業について説明
防災展示室の見学・体験、質疑応答



起震車による地震体験



資器材操作体験(イメージ)

【参考】中米6か国および中米防災調整センターについて

中米6か国：ホンジュラス、コスタリカ、グアテマラ、パナマ、
ニカラグア、エルサルバドル

中米防災調整センター：中米統合機構傘下の防災専門機関として設立。
中米防災10か年計画を策定し、地域防災力の
強化や防災分野の人材育成の促進などが重点課題として掲げられている。

【参考】JICA「広域防災能力向上プロジェクト」について

中米諸国の中央防災機関を対象に、コミュニティ防災の持続的な普及体制を各国防災機関等が確立することを目的に、2016年から5年間来日して研修を実施する。なお、今年度の研修タイトルは「コミュニティ防災推進のための組織体制の強化」であり、自治体における自主防災組織の支援の仕組み等について学ぶ。

【参考】防災学習センターについて(平成26年4月開設)

防災人材育成や普及啓発機能に特化した防災学習施設。区民の防災に対する意識の向上を図り、地域において活動する人材を育成する「ねりま防災カレッジ事業」の中心的な拠点として運営している。起震車体験を始め、防災展示室では、パネルや防災用品などの展示物や災害時に役立つロープワークなどの体験コーナーがあり、地震などの災害から自分や家族の身を守る術を学ぶことができる。